

阪神大震災からの長田復興のシンボル「鉄人28号」

実物大モニュメントが神戸 新長田駅前に完成 2009.10.1.



鉄のモニュメント

神戸長田復興のシンボル「鉄人28号」

阪神大震災からの長田復興のシンボル「鉄人28号」実物大モニュメントが完成

神戸市 JR 新長田駅南若松公園 2009.10.4.

アニメ版の設定原寸【高さ18メートル、重さ50トン】の鋼鉄製 製作 岸和田市「北海製作所」

神戸出身の横山光輝原作漫画『鉄人28号』 1956年（昭和31年）月刊誌『少年』に連載開始された。そして、1963年（昭和38年）TVアニメ『鉄人28号』（白黒アニメ）スポンサー-江崎グリコ・グリコ乳業。が放映され、その主題歌とともに子供たちばかりでなく、多くの人に親しまれるTVアニメとなった。

この年の1月より放送開始されたアニメ手塚治虫原作「鉄腕アトム」とともに『てつじんにじゅうはちごう、ガオー』で始まる三木鶏郎の軽快な主題歌のメロディーは「グリコ、グリコ、グーリーコー」（通称「グリココール」）とともに子供たちばかりでなく、高度成長期・TV時代の幕開けを告げる1960年代を象徴する歌として多くの人に親しまれた。

「鉄人28号」は日本が高度成長を遂げ、経済大国として飛躍してゆく「鉄」の時代の象徴。

製鉄会社に入って間もない頃の日支審閲していた日々を思い起こさせてくれ、同僚が宴席になるとよくこの主題歌を披露してくれた元気の出る歌であった。

われら同僚の世代の（鉄の）モニュメントでもある。



阪神大震災からの長田復興のシンボル「鉄人28号」 実物大モニュメントが神戸 新長田駅前に完成 2009.10.4.

鉄のモニュメント



神戸長田復興のシンボル「鉄人28号」

どんと大地を踏みしめ、拳を大空へ

阪神大震災からの長田復興のシンボル「鉄人28号」実物大モニュメントが完成
アニメ版の設定原寸[高さ18メートル、重さ50トン]の鋼鉄製 製作 岸和田市「北海製作所」
神戸市 JR 新長田駅南若松公園 2009.10.4.

〔 鉄人28号 〕

神戸出身の横山光輝原作漫画『鉄人28号』1956年(昭和31年)月刊誌『少年』に連載開始された。そして、1963年(昭和38年)この年の1月より放送開始されたアニメ手塚治虫原作「鉄腕アトム」とともにTVアニメ『鉄人28号』(白黒アニメ・スポンサー江崎グリコ・グリコ乳業)が放映され、その主題歌とともに子供たちばかりでなく、多くの人に親しまれるTVアニメとなった。『てつじんにじゅうはちごう、ガオー』で始まる三木鶏郎の軽快な主題歌のメロディーは「グリコ、グリコ、グ〜リ〜コ〜」(通称「グリココール」)とともに子供たちばかりでなく、高度成長期・TV時代の幕開けを告げる1960年代を象徴する歌として多くの人に親しまれた。



阪神大震災で大きな災害に見舞われた神戸長田地区 復興のシンボルとして建設
その大きさ その力強さに 唖然と 見上げていました。

震災の記憶とは別に、われら 団塊の世代にとっては「鉄腕アトム」とともに、
時代を思い起こす(鉄の)モニュメント。若き日を思い起こさせてくれるシンボルでもある

日本が高度成長を遂げ、経済大国として飛躍してゆく「鉄」の時代の象徴。

鉄人28号がこぶしを振り上げ青空を見上げる姿は製鉄会社に入って間もない頃

日夜奮闘していた日々をふつつつと思い起こさせてくれる。

がっちりと大地を踏みしめる足のなんと力強いこと。

同僚が宴席になるとよくこの主題歌を披露してくれた元気の出る歌でもあった。

「鉄人28号を見上げ その前で鉄人と記念写真をとって また 見上げる」

そんな人たちが次から次へと鉄人を取り囲んでいました。

2009.10.4. by Mutsu Nakanishi



鉄人28号が建った 新長田商店街の賑わい 2009.10.4.

阪神大震災からの長田復興のシンボル「鉄人 28 号」

実物大モニュメントが神戸 新長田駅前に完成

鉄のモニュメント



神戸長田復興のシンボル「鉄人28号」

どんと大地を踏みしめ、拳を大空へ

阪神大震災からの長田復興のシンボル「鉄人 28 号」実物大モニュメントが完成
アニメ版の設定原寸〔高さ18メートル、重さ50トン〕の鋼鉄製 製作 岸和田市「北海製作所」

神戸市 JR 新長田駅南若松公園 2009.10.4.

〔 鉄人 28 号 〕

神戸出身の横山光輝原作漫画『鉄人 28 号』

1956 年(昭和 31 年)月刊誌『少年』に連載開始された。

そして、1963 年(昭和 38 年)この年の 1 月より放送開始されたアニメ手塚治虫原作「鉄腕アトム」とともに TV アニメ『鉄人 28 号』(白黒アニメ・スポンサー江崎グリコ・グリコ乳業)が放映され、その主題歌とともに子供たちばかりでなく、多くの人に親しまれる TV アニメとなった。

『てっぴんにじゅうはちごう、ガオー』で始まる三木鶏郎の軽快な主題歌のメロディーは「グリコ、グリコ、グ〜リ〜コ〜」(通称「グリココール」)とともに子供たちばかりでなく、高度成長期・TV 時代の幕開けを告げる 1960 年代を象徴する歌として多くの人に親しまれた。



阪神大震災からの長田復興のシンボル「鉄人28号」実物大モニュメントが神戸 新長田駅前に完成。2009.10.4.

阪神大震災で大きな災害に見舞われた神戸長田地区 復興のシンボルとして建設
その大きさ その力強さに 唖然と 見上げていました。

震災の記憶とは別に、われら 団塊の世代にとっては、「鉄腕アトム」とともに、
時代を思い起こす(鉄の)モニュメント。若き日を思い起こさせてくれるシンボルでもある
日本が高度成長を遂げ、経済大国として飛躍してゆく「鉄」の時代の象徴。

鉄人 28 号がこぶしを振り上げる青空を見上げると
製鉄会社に入って間もない頃 日夜奮闘していた日々をふつあつと思い起こさせてくれる。
また、がっちりど 大地を踏みしめる足のなんと力強いこと。

同僚が宴席になるとよくこの主題歌を披露してくれた元気の出る歌でもあった。
「鉄人 28 号を見上げ その前で鉄人と記念写真を撮って また 見上げる」

そんな人たちが次から次へと鉄人を取り囲んでいました。

2009.10.4. by Mutsu Nakanishi







長田 若松公園で 2009. 10. 4.









